

特別感は “紙質”で決まる。

紙を変えるだけで、印刷物の価値はここまで変わる。
— コート紙から“特別な紙”へ。ブランドの印象を一段上へ —



「他社と差別化したい」
「ブランドの世界観をもっと伝えたい」
そんなご相談が増えています。
実はその課題、“紙質”を変えるだけで
解決できることをご存じでしょうか。



代表的な一般用紙：コート紙

- 大量生産向けの標準紙
- どこか“見慣れた”印象になりやすい
- ブランドの個性が出しづらい
- 光沢が強く、好みに分かれやすい



特殊紙に変更すると…

- 手触り・質感で“記憶に残る”
- 少部数でも価値が伝わる
- ブランドの世界観を表現しやすい
- “捨てられない”ツールになりやすい

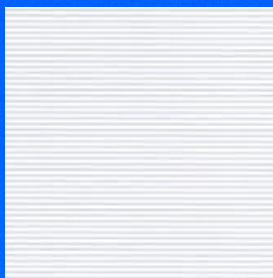
特殊紙の種類と特徴

● ファンシーペーパー（高級紙）



上質な手触りと豊富な色味。名刺・冊子・招待状に最適。

● エンボス紙



凹凸のある立体感。パッケージやショップカードで存在感UP。

● パール紙



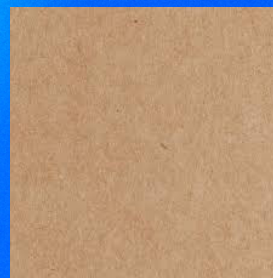
光沢が華やか。ブランド・美容・ジュエリー系に人気。

● 和紙系



温かみと伝統感。旅館・和食店・工芸ブランドに最適。

● クラフト紙



ナチュラルで環境配慮。カフェ・雑貨・食品ブランドと好相性。

特殊紙サンプルのご希望やご相談は、営業担当までお気軽にお声がけください。
さんろくこうげい

